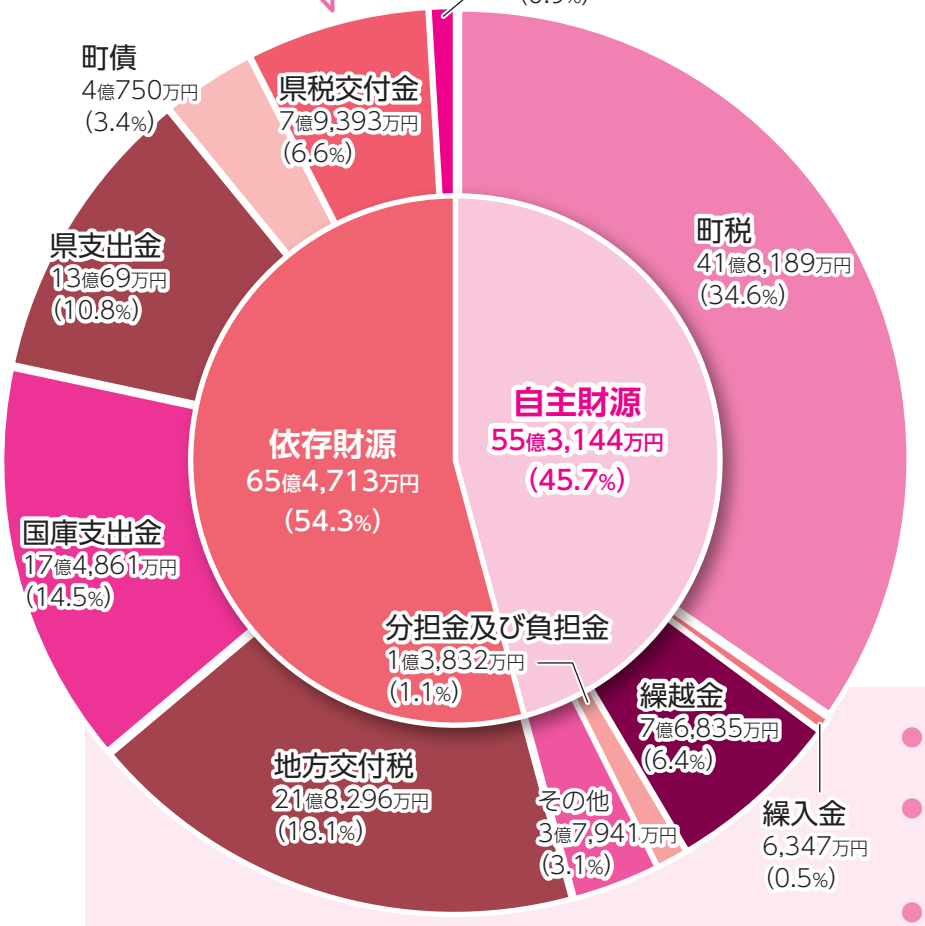
令和7年度 決算報告

令和７年度の決算をお知らせします。決算は１年間の事業内容を歳入（収入）と歳出（支出）で表したものです。令和７年度は、「時代の変化に対応し だれもが輝き ともに創るまち “日野”」を将来像として掲げた「第６次日野町総合計画」の５年目として、時代の変化を見据えた日野町の未来への投資となる施策や、物価高騰対策等の緊急的な施策、町の将来発展と持続可能性を両立するための積極的な取り組みを行いました。

どんなお金が入ってきたの？



一般会計 歳入

120 億 7,857 万円

町に入ってきたお金

- 歳入総額は、前年度と比較すると、依存財源のその他以外がすべて増加しており、特に県支出金、町税が大幅に増加したことから、総額10億7,792万円増加しました。
- 県支出金は、牛舎整備にかかる補助金等の交付があったことから、前年度に比べ大幅に増加しています。
- 町税については、定額減税により減少していた分の増加や、景気回復・賃金上昇の影響により、前年度に比べ個人町民税が大幅に増加しています。

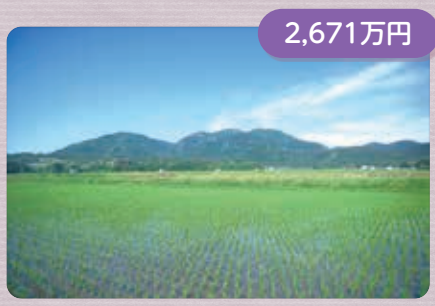
用語解説 歳入

- **自主財源**…町が自主的に調達できるお金
- **依存財源**…国や県の基準に基づき交付されるお金
- **町税**…皆さんから町に納めていただいた、町民税、固定資産税、軽自動車税等
- **地方交付税**…各市町村間の財源の不均衡を調整するために、国から一定の基準により交付されるお金
- **国庫支出金・県支出金**…町が実施する特定の事業に対して、国や県から交付される補助金等
- **町債**…町の運営を行うために国や銀行等から借り入れるお金

5,250万円

小学校の照明更新工事

施設の長寿命化のため、日野小学校・必佐小学校の照明 LED 化工事を行いました。



2,671万円

中山間地域等直接支払交付金の拡充

農業生産条件の不利な中山間地域等の農地の維持・管理のための活動への交付金について、対象農用地を勾配 1/50 以上の緩傾斜地まで拡大しました。

3,594万円

国民スポーツ大会の開催

「わた SHIGA 輝く国スポ」が開催され、日野町で行われた軟式野球競技会場の企画・運営等の取り組みを行いました。

一般会計 歳出

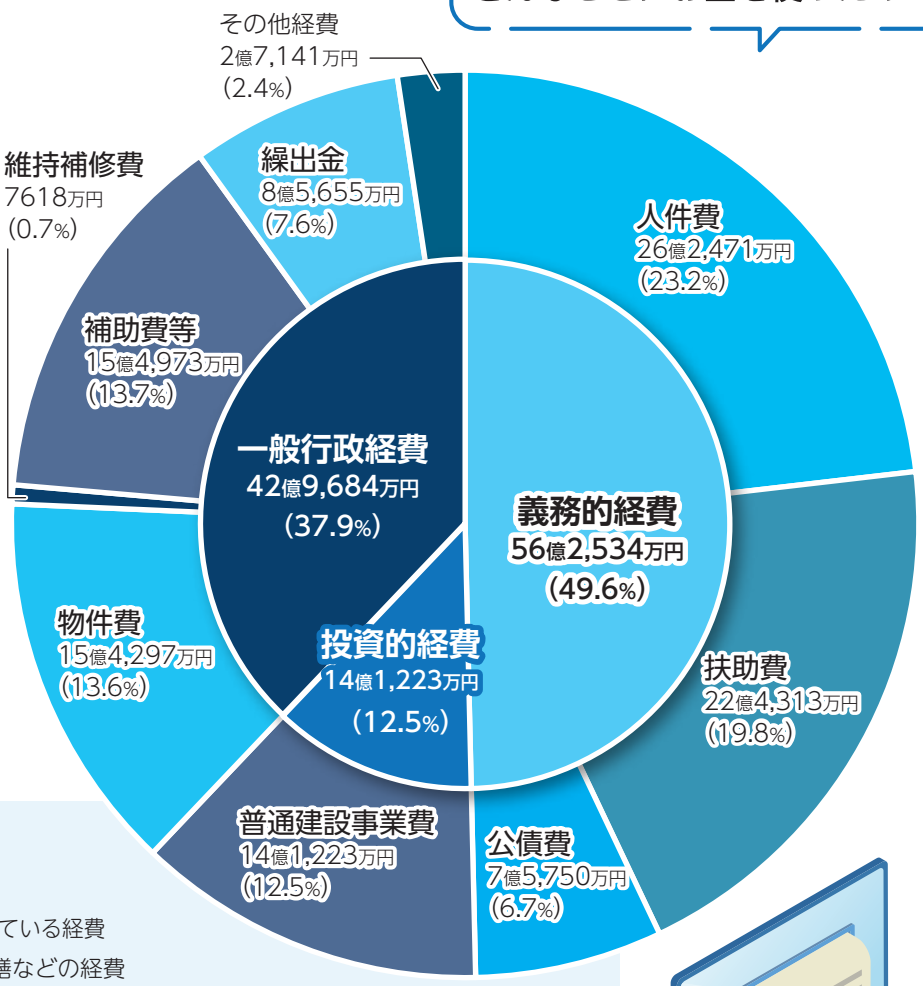
113億3,441万円

町が使ったお金

- 歳出総額は、前年度と比較すると、すべての経費において増加しており、特に普通建設事業費や物件費が増加したことから、総額11億212万円増加しました。
- 歳出の内容について、下記の「令和7年度に実施した主な事業」にある事業を実施したほか、生活基盤として道路新設や維持補修等を実施しました。また、児童育成支援拠点事業、公式LINEでの子育て情報の発信などを実施しました。

※各項目で四捨五入しているため、合計および割合が一致しない場合があります。

どんなことにお金を使ったの？



用語解説 歳出

- **義務的経費**…支出することが義務付けられている経費
- **投資的経費**…公共施設の整備や大規模修繕などの経費
- **一般行政経費**…上記以外の経費
- **人件費**…議員等への報酬や職員の給与などの費用
- **扶助費**…子育て世帯や高齢者、障がいのある人への支援費用
- **公債費**…町の借入金の返済費用
- **普通建設事業費**…道路や公共施設の整備など、将来への投資費用
- **物件費**…光熱水費、消耗品費、備品購入費など
- **補助費等**…消防やごみ処理など広域行政への負担金や、自治会や団体などへの補助などの費用

令和7年度に実施した主な事業

6,086万円

物価高対応子育て応援手当の支給

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援する観点から、物価高対応子育て応援手当の支給を行いました。

7,297万円

大谷公園長寿命化工事（スポーツ広場・野球場照明改修）

施設の老朽化に対応するため、町の長寿命化計画に基づき大谷公園スポーツ広場・野球場の照明改修工事を行いました。

2,364万円

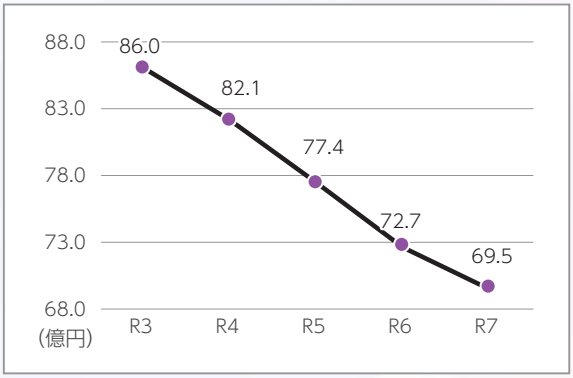
地域公共交通の活性化「わたむき自動車プロジェクト」の推進

「チョイソコひの」の運行地域拡大や公共ライドシェア実証実験など公共交通活性化に向けた取り組みを行いました。

将来に負担を残しすぎないよう、着実に返済を進めつつ、大きな支出に備えて積み立てています。

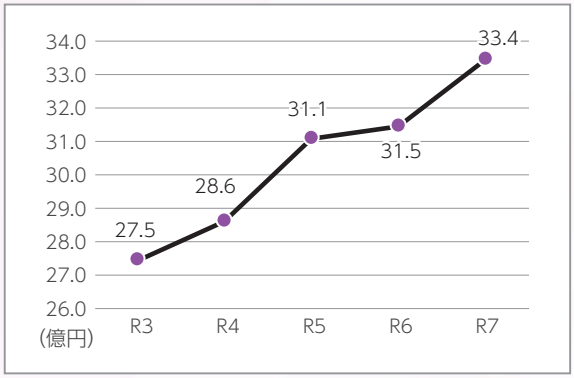
町の借金と貯金

町債残高（借金）



町債は道路等の公共施設の整備・維持管理等のために借り入れしている借金です。令和７年度は新規町債の発行を抑制し、着実に償還を進めたことから町債残高が減少しました。

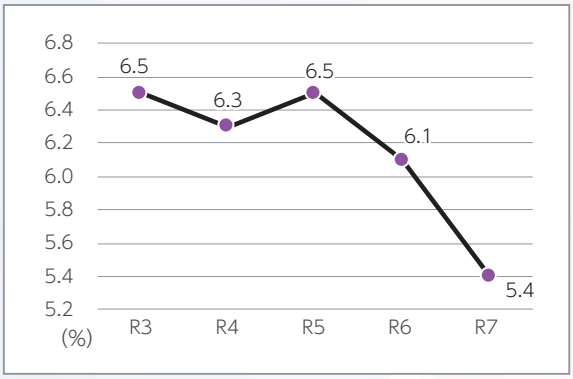
基金積立額（貯金）



町の貯金である基金は、突発的な災害等への対応や公共施設の長寿命化対策、教育施設の修繕・改修、幼保施設の整備など、今後の財政需要に備えるため、着実に積み立てています。

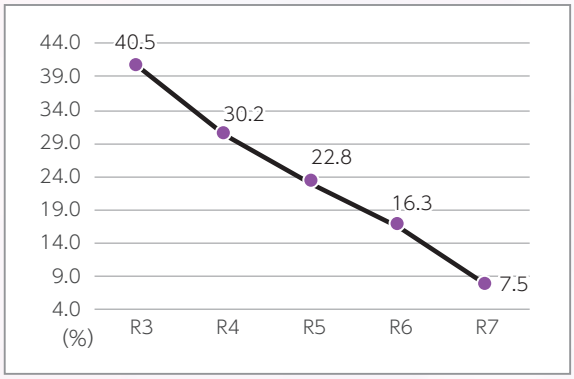
健全化判断比率

実質公債費比率



実質公債費比率は、年間の借金返済の大きさを表しており、比率が高いほど、借金返済の資金繰りが厳しいことを表しています。令和５年度から比率は下がっており、今後も引き続き適正な借り入れを行う必要があります。

将来負担比率



将来負担比率は、将来に負担が見込まれる負債の大きさを表しています。借り入れた借金の返済を着実に進めていることから、前年度と比較して8.8％減少しています。今後は、新こども園の建設や公共施設の改修等の将来負担の増加が懸念されることから、適切な財政運営に努めて行きます。

財政の健全化を示す指標は、いずれも早期健全化基準（実質公債費比率25%、将来負担比率350%で、この基準以上になると、早期に改善が必要とされます。）を大きく下回っており、町の財政状況は健全であることを示しています。

問 総務課　財政担当　☎0748-52-6500